

第3次静岡市地球温暖化対策実行計画 パブリックコメントの結果概要について

パブリックコメントの実施結果

地球温暖化対策実行計画の実施結果

(1)募集期間 令和4年12月6日から
令和5年1月10日まで(36日間)

(2)意見提出件数 **156件(110人)**

結果に対する考え方

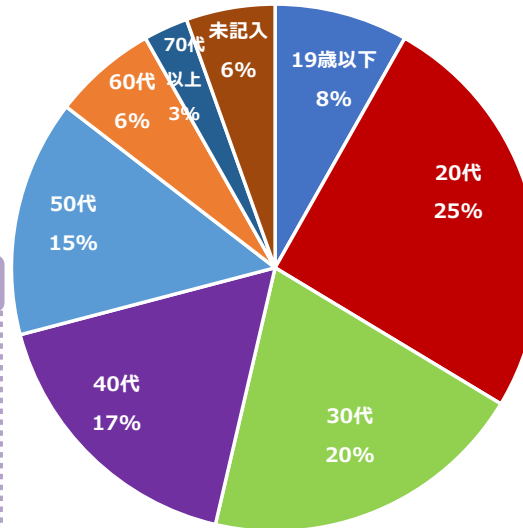
【結果】

20代~50代を中心に幅広い年齢層から意見が提出され、職業では会社員と学生からの意見が多かった。

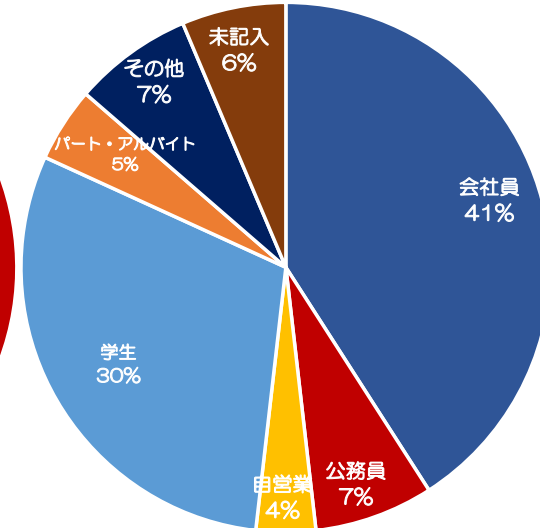
【考察】

企業も脱炭素化への取組を行う必要があり、自分事として影響があることから会社員が多くなったと考えられる。また、学生は、イベント等で関わりがあった高校・大学への広報を重点的に行ったほか、東海大学海洋学部に授業の中で紹介の機会をいただいたことで意見が多かったと考えられる。

【年齢】



【職業】



(参考1)

環境基本計画の実施結果

(1)募集期間 令和4年12月6日から
令和5年1月10日まで(36日間)

(2)意見提出件数 **102件(76人)**

(参考2)

一般廃棄物処理基本計画の実施結果

(1)募集期間 令和4年12月1日から
令和5年1月5日まで(36日間)

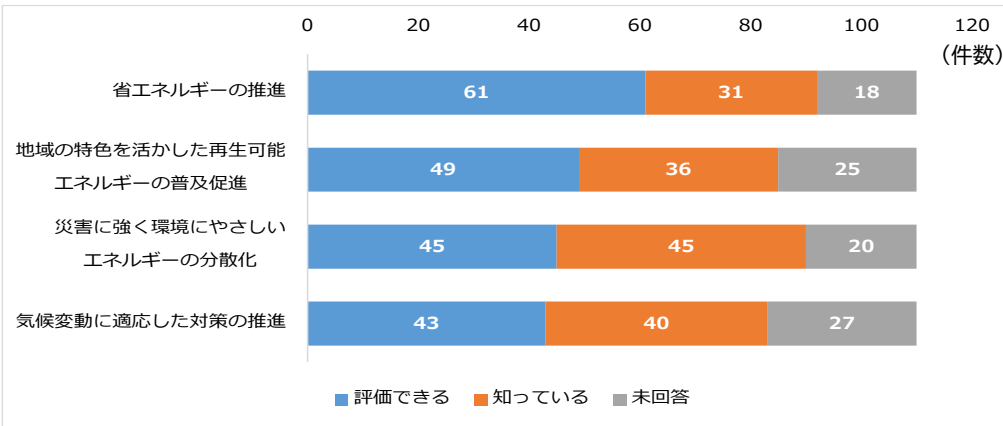
(2)意見提出件数 **157件(61人)**

パブコメ意見を計画(案)に反映していく

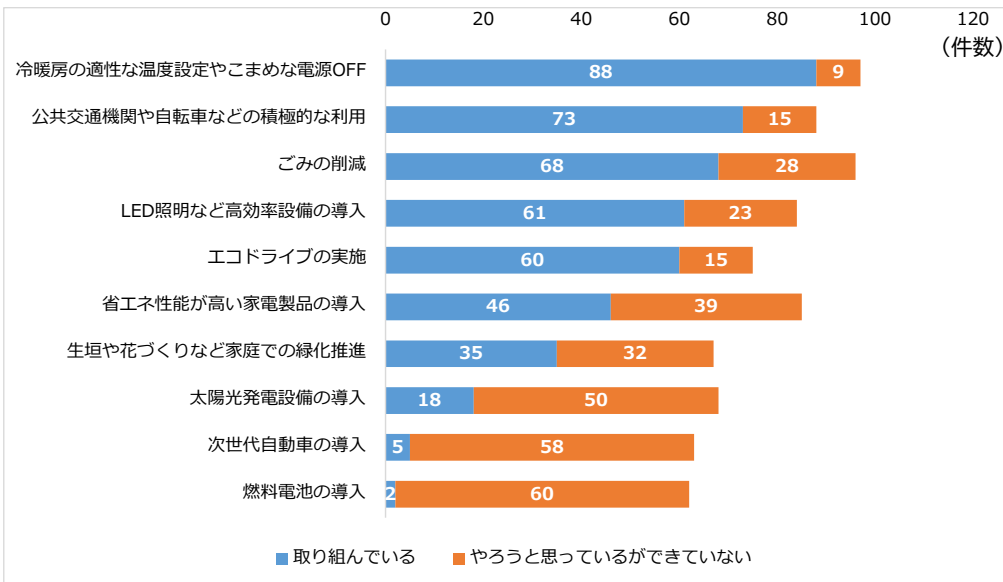
パブリックコメントの実施結果

(3)回答項目の分析

問1 第2次計画で実施してきた主な取組の中から「評価できるもの」または「知っているもの」を教えてください



問2 地球温暖化防止に向け、「今取り組んでいること」、「やろうと思ってもできていないこと」を教えてください。



問1 市の考え方

【結果】
各施策について、「評価できる」又は「知っている」という回答が全体の約8割

【考察】
本市が第2次計画で推進してきた取組が一定の評価を受けていること、また、評価されずとも市民に認知されている。

【今後の方向性】
第3次計画においては、脱炭素先行地域の取組やPPAによる太陽光発電の普及など「目に見える」事業の進捗に合わせて情報発信にも努め、「評価できる」という回答の増加を、さらには市民・事業者の行動を引き出すことを目指していく。

問2 市の考え方

【結果】
経費的な負担がない、又は負担が重くない取組については、既に取り組んでいる方が多い。一方で、多額の経費負担が見込まれる再エネ関連設備や次世代自動車については導入が進んでいない。

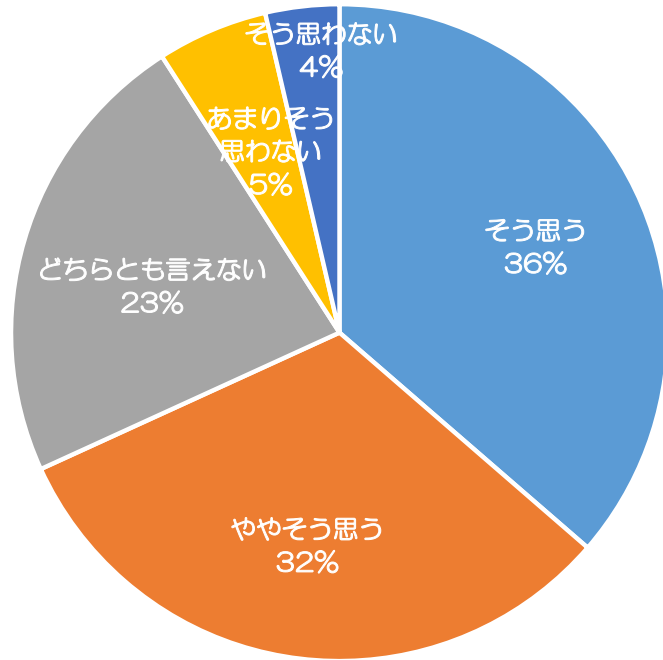
【考察】
できるところから取り組むという意識は浸透しつつある。経費負担の軽減が可能であればより一層取組を推進させることができる。

【今後の方向性】
太陽光発電設備における第三者所有モデル(PPA)の普及拡大にまずは注力するとともに、イニシャルコストの低減が期待できる薄膜型太陽電池などの開発状況にも注視していく。また、地球温暖化対策が経済面でも有利であることなどを、事業者と連携し、継続して情報発信していく。

パブリックコメントの実施結果

(4)回答項目の分析

問3 第3次計画全体について、共感できますか。(n=110人)



問3 市の考え方

【結果】

計画の内容について、「そう思う」「ややそう思う」の割合が約7割で、概ね共感を得られている。

【考察】

昨今の世界的な動きや日本の動きから、脱炭素化の必要性は認識されており、取組の必要性への理解も進み、さらなる行動に向けた機運も高まりつつある。

【今後の方向性】

計画の推進にあたり、まずは市民・事業者の意識向上が必要であり、すでに行動を始めた市民・事業者と連携のもと、好事例を発信し、横展開を目指していくとともに、PPAによる太陽光発電の普及など、市民参加型の地球温暖化対策事業の充実も検討していく。

【意見の取りまとめ結果】

- 計画の内容には概ね賛同を得られた。温室効果ガスの削減目標を引き上げることなど、本市の取組への期待も寄せられた。
- 既存の取組の実施や、計画の内容を市民・事業者にわかりやすく周知することを希望するなど、脱炭素化の意識向上のための取組を求める意見が多く寄せられた。

パブリックコメントの実施結果

地球温暖化対策実行計画の実施結果

(4)寄せられた意見の内訳

大項目	件数	主な意見の要旨	計画に反映	盛込済又は今後の参考
計画全体	28	<ul style="list-style-type: none"> 清水港のカーボンニュートラルポート化を推進していくべき。 促進区域は地域の理解や基準の設定が必要になるのではないか。 再生可能エネルギーの現状の導入量や目標値は適正なのか。 など	3	23
進捗指標	11	<ul style="list-style-type: none"> 2030年目標ではイメージがわからないため、もう少し短い期間で目標値を示してほしい。 適応策の認知度の目標を引き上げてほしい。 2030年の削減目標は勢いが大切だと考えるため、60%前後でもよいと考える。 「75%をめざして可能な限り大幅に削減することを目指す」としてはどうか。 もっと大きな削減目標を示して欲しい。 事務事業編の数値は適正なのか。 など	4	4
取組への期待	25	<ul style="list-style-type: none"> 全体的な計画の推進や、市民・事業者・行政が連携した取組に対する期待 静岡発の新技术開発、政令市としての先進的な取組への期待 気候変動への対応（防災力の強化など）に対する期待 個別事業に対する期待 など	0	15
取組の提案	63	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ・再エネの拡大に関する提案（省エネ・再エネ・次世代自動車の導入推進など） 脱炭素化に向けた意識向上に関する提案（情報発信の強化、成功事例の公表など） まちづくりに関する提案（公共交通機関の利活用、防災力強化、インフラ整備） など	1	73
掲載文の修正等	8	<ul style="list-style-type: none"> 市民や事業者が取り組む内容の明確化 掲載されている語句など修正等に関する意見（用語集の作成、説明の補足など） など	2	4
その他	21	<ul style="list-style-type: none"> 取組への疑義や反対意見（原発を活用した脱炭素化に反対、経費負担がネックなど） 市政全体への意見（地球温暖化対策以前の取組が不十分） など	0	8
合計	156		10	127

※計画に盛込済で、かつ、今後の参考とすること意見が17件、その他の意見が36件であり、意見の合計数は156件

パブリックコメントや各種会議での意見を受けた主な変更点

【個別の修正】(抜粋)

		パブコメや各種会議での意見	変更内容等
目標関連	①	<p>進捗指標に中間目標が必要では</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2030年目標だとあまりイメージがわからない。もう少し短い期間に区切り、目標値を示してもらいたい。(パブコメ) ・数年ごとの期間に分けて指標を定めた方が市民に受け入れられやすい。(パブコメ) ・8年後の目標だけでなく、中間見直しのため、中間目標の設定も必要と考える。(庁内会議) 	<p>中間目標を掲げます。 本編：P35～38・40</p> <ul style="list-style-type: none"> ・削減目標に中間目標を設定します。 ・2026年の削減目標として、対2013年度比で26%の削減目標とします。 ・取組方針ごとの指標にも中間目標を設定します。 ・より高い目標設定を求める意見等もありましたが、国や県の目標や、実現可能性等も考慮し、目標は変更しないこととします。
	②	<p>再生可能エネルギーの導入目標は実態を反映しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーを増やしていかなければいけないことは理解できるが、計画の数値は実態を反映しているか。(パブコメ) 	<p>ポテンシャル量等を精査し、次のとおり修正します。 本編：P45</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーの導入目標について、既存の設備や今後の計画を精査し、目標を修正します。(中小水力・木質バイオマスの導入目標を追加)
行動・実践	③	<p>市民がどう行動してよいかわかりづらいのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容としてはわかるが、市民の1人としてこの計画を見たときに、どう行動してよいかわかりづらい。(パブコメ) 	<p>わかりやすい表現に記載を修正します。 本編：P42～59・82</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組内容の記載を理解しやすいよう修正します ・「市民・事業者が取り組むこと」というタイトルへの変更や、「地域に裨益する ⇒ 地域に有益な」への修正、巻末に用語集を追加
	④	<p>(取組方針1：省エネルギーの推進) 脱炭素にはテレワークの普及やペーパーレス化などのデジタル化を必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素なまちづくりには、テレワークの普及やペーパーレス化などのデジタル化も必要だと思います。(パブコメ) 	<p>いただいた意見を踏まえ、記載を追加します。 本編：P43</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針1の省エネルギーの推進のうち、脱炭素ライフスタイル・ビジネスへの転換にテレワークの普及やペーパーレス化などのデジタル化の推進に記載します。

パブリックコメントや各種会議での意見を受けた主な変更点

【個別の修正】(抜粋)

		パブコメ意見	変更内容
その他	⑤	清水港のCNポート化 ・清水港のCNポート化を推進していくべき (パブコメ)	リーディングプロジェクトに記載します。 本編：P62 ・リーディングプロジェクトの「グリーン水素の利活用促進」において、清水港のCNポート化の推進について記載します。
	⑥	促進区域の設置は可能なのか。 ・促進区域は簡単に設置できるものなのか。設置するために地域の理解や基準の設定が必要になるのでは。(パブコメ)	県からの基準が示されていないことも踏まえ、設定に向けた考え方等を示すにとどめます。 本編：P67 ・「地域脱炭素化促進事業の促進に関する事項として定めます。」との表記をしておりましたが、設定を予定するエリアや、必要となる手続きを明記し、設置に向けて取組を進めていくという内容の記載に修正します。